

事務事業名		浮浪者行旅病人及び行旅死亡人援護事業			会計	一般会計					
課等名		福祉課 係等名 生活福祉係			事業種別	経常	開始		終了		
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり								
	施策	36	生活困難者の自立及び支援								
目的	対象(誰・何を)	浮浪者、行旅病人及び行旅死亡人				対象指標	指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	最低限の援護がなされる					移動用旅費支給者(人)		6		
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談者数/人口(外国人を含む)(%)					最終目標は過去3年間の平均(人)				
目標	種別	指標名及び単位				24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	移動用旅費等支給者数/旅費等支給希望来所者数(%)				100	100	100	100		
	定性目標										
事業概要	浮浪者に対し移動用の旅費食費計500円の支給を行う。冬季等でやむを得ない場合は宿泊保護を行うこともある。行旅死亡人の葬儀等を執り行う。										
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	1 浮浪者に対し、移動用旅費及び食費を交付。冬期間は宿泊費を支給				1浮浪者対応 (1) 移動用旅費等支給者 人 (2) 宿泊保護者 人			1 (1) 6人 (2) 0人			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		224	72	3	72	身元不明者が市内で死亡した場合県負担金(行旅死亡人援護負担金) 身元不明者が市内で死亡した場合の本人の所持金(行旅死亡人返還金)					
国庫支出金											
県支出金		200									
起債											
その他		20									
一般財源		4	72	3	72						
人件費計(千円)②		0		179							
正規職員所要時間				50							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		224	72	182	72						
事業内容・目標達成状況の振り返り	必要な者に対応できた。										
改革改善の考え方	①問題点	特になし									
	②改革提案	今後も浮浪者、行旅病人及び行旅死亡人が出れば対応していく。									